

本校110年のあゆみ



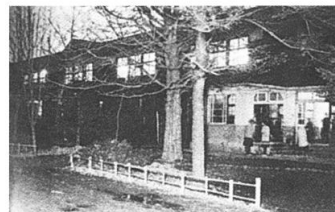
- 昭和17年
3・13 函館市立商業学校(夜間甲種実業学校)の設立認可を受け、函館市立商工青年学校商業部生徒と移管す。修業年限は本科4年、専修科1年とし、本科第1学年および専修科の入学資格を高等学校第2学年を卒業したる者とした。
3・27 函館市立中学校内(船見町47)に移転す。
- 昭和18年
3・16 庁立函館商業学校内に移転す。
- 昭和19年
3・17 「教育二関スル戦時非常措置方策」に基づく文部省指令により、1年生は市立工業高校へ転換のやむなきにいたりその離別式を行なう。以後募集停止となる。
- 昭和20年
3・3 火災のため校舎前半焼失す。
- 昭和21年
3・24 戦時中最後かつ唯一の在校生が、市商第4回生として巣立って行った。
4・28 新規募集が認められ、市商復活第1回の入学式を挙行す。
- 昭和22年
4・1 新教育制度により、新制中学校は併置し、在校生をそれぞれ当該学年とす。
- 昭和23年
3・24 併置中学校を廃止す。
4・1 学則改正により、函館市立商業高等学校となり、在校生は、新制高校第2学年および第1学年に移行した。従って本年度は新規募集中止。
- 昭和24年
4・1 道立に移管され北海道立函館商業高等学校夜間課程となる。
- 昭和25年
4・1 北海道函館商業高等学校定時制課程と改称する。男女共学の実施に伴い、第1学年女子4名入学許可。また、函館市立女子高等学校(旧函館市立女子商業学校)生徒3名編入学許可す。
- 昭和26年
3・4 定時制課程第1回(函商新制第3回)卒業式を挙行す。在学期間5カ年を数え、本校定時制課程の基盤をつくる。
4・1 生徒募集1学級増開始。
4・1 北海道函館商業高等学校定時制課程上磯分校の設立認可があり、翌27年4月1日北海道上磯高等学校として独立するまで、誠意をこめて協力す。
11・22 函館市高等学校定時制教育振興会発足し、以後、市内4校合同の文化、体育等の諸行事を行なう。
- 昭和27年
4・1 生徒募集1学級減。
- 昭和28年
4・1 生徒募集1学級増復活。
- 昭和30年
8・18 蛍光灯の切替工事、全教室完成し、教室内の照明度150ルクス。
- 昭和31年
4・1 学級増完成し、12学級編成となる。
10・3 創立70周年記念式典並びに体育館及びタイプライター教室新築落成式挙行す。
- 昭和32年
1・17 道費を以って給食室および調理室竣工し、完全給食を実施す。



市立商業の門標



市商第1回卒業生の予饗会



五稜ヶ丘旧校舎の夜学の灯



浜根プール



前列左より、池田、曳頭、野崎
後列左より、吉崎、青木、長野
堀口、水谷、牧野
(注)イラストの大家、西谷重美
君は、離交会の変り種
国
鉄職員であった。